

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

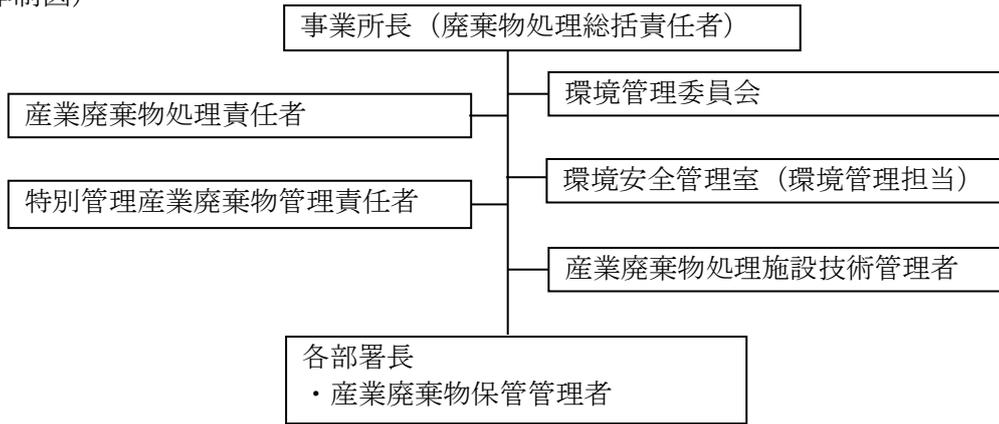
（第1面）

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">令和6年6月11日</p> <p>愛知県知事 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 愛知県知多郡武豊町字北小松谷61番地1 氏 名 日油株式会社 愛知事業所 事業所長 陣内 孝教</p> <p style="text-align: right;">電話番号 0569-72-1221</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	日油株式会社 愛知事業所
事業場の所在地	愛知県知多郡武豊町字北小松谷61番地1
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16 化学工業
②事業の規模	製造品出荷額： 2,991,000 万円
③従業員数	597 人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発・品質管理：①特別管理産業廃棄物（不特定）→中間処理業者に委託して適正処理 ・ 有機過酸化物製造：①引火性廃油→自社ボイラーの燃料にて再生利用、中間処理業者に委託して一部を燃料化／②腐食性廃酸→自社廃水処理の中和剤として再生利用、中間処理業者に委託して適正処理／③腐食性廃アルカリ→中間処理業者に委託して適正処理 ・ 火薬類製造：①特定有害廃油→中間処理業者に委託して適正処理 ②引火性廃油→中間処理業者に委託して適正処理／③腐食性廃酸→自社廃水処理の中和剤として再生利用、中間処理業者に委託して適正処理／④特定有害汚泥→中間処理業者に委託して適正処理

（日本工業規格 A列4番）

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(05年度)実績】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・製品歩留まり向上による廃棄物発生量を抑制している。 ・自社内再利用を促進している。		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・前年度の取組を継続。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・溶剤系廃棄物は、分別することにより蒸留等の再生処理が可能となるため、分別回収を徹底している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・前年度の取組を継続。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(05年度)実績】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) ・強酸は、廃水の中和剤として利用している。	
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) ・前年度の取組を継続。	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(05年度)実績】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組) ・処理可能なものは、廃水処理施設にて処理を行っている。		
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組) ・前年度の取組を継続。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度(05年度)実績】別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施する予定はない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(05年度)実績】別紙のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・可能な限り最終処分量の低減を図るべく、中間処理による減容可能な業者への委託を実施している。 ・新規委託に関しては優良認定処理業者であるかを考慮している。		

②計画	【目標】 別紙のとおり	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	t t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
(今後実施する予定の取組)		
・前年度の取組を継続。		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(05 年度)実績】	
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	3,265 t
(今後実施する予定の取組等)		
・全て電子マニフェスト化済み		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(以下「令」という。)第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量(ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等(情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。)について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の種類 項目	引火性廃油	引火性廃油(有害)	強酸	強アルカリ	燃え殻(有害)	
	廃溶剤、試薬類	試薬類	製造廃液、試薬類	製造廃液	燃えがら	
■特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	排出量	251.413	1.516	1,190.753	1,467.170	6.180
②計画	排出量	250.000	1.500	1,200.000	1,480.000	6.200
■自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	975.290	0.000	0.000
②計画	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	980.000	0.000	0.000
■自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	183.500	0.000
②計画	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	180.000	0.000
■自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項						
①現状	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
■特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	全処理委託量	251.413	1.516	215.463	1,283.670	6.180
	優良認定処理業者への処理委託量	251.413	1.516	215.463	1,283.670	6.180
	再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	6.180
	認定熱回収業者への処理委託量	250.955	1.516	71.100	1,283.670	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	全処理委託量	250.000	1.500	220.000	1,300.000	6.200
	優良認定処理業者への処理委託量	250.000	1.500	220.000	1,300.000	6.200
	再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	6.200
	認定熱回収業者への処理委託量	250.000	1.500	71.000	1,300.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

特別管理産業廃棄物の種類 項目	廃油(有害)	汚泥(有害)	廃酸(有害)	廃石綿等(飛散性)	合計	
	廃溶剤、試薬類	残さ、試薬類	製造廃液、試薬類	廃石綿等		
■特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	排出量	5.112	24.250	319.332	0.000	3,265.726
②計画	排出量	5.100	1.000	320.000	0.100	3,263.900
■自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項						
①現状	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	975.290
②計画	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	980.000
■自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項						
①現状	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	183.500
②計画	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	自らの中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	180.000
■自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項						
①現状	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
■特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	全処理委託量	5.112	24.250	319.332	0.000	2,106.936
	優良認定処理業者への処理委託量	5.112	24.250	319.332	0.000	2,106.936
	再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	6.180
	認定熱回収業者への処理委託量	5.112	0.000	0.000	0.000	1,612.353
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
②計画	全処理委託量	5.100	1.000	320.000	0.100	2,103.900
	優良認定処理業者への処理委託量	5.100	1.000	320.000	0.100	2,103.900
	再生利用業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	6.200
	認定熱回収業者への処理委託量	5.100	0.000	0.000	0.000	1,627.600
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000